



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 355

Februar 2021

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

「緊急事態宣言」発令下での神戸日独協会の活動について

1月13日に兵庫県下に「緊急事態宣言」が再発令され、3月7日まで延長されています。この「緊急事態宣言」の効果により、兵庫県下での新型コロナウイルスの感染者数は二桁台まで減少しています。この情勢に鑑みて宣言「解除」の論議が高まっていますが、神戸日独協会は兵庫県下に「緊急事態宣言」が発令中は引き続き次の措置を取ります。

1. **ドイツ語講座・ドイツ文化教室**は、実技を伴う教室を除いて原則としてオンライン授業に移行します。クラスの事情により対面授業併用もありますので、事務局へお問い合わせください。
2. **協会主催の行事**(ドイツ語講座・ドイツ文化教室を除く)及び集会は、原則的に中止します。
3. **会報の発行**は継続します。会報印刷のための作業室が閉鎖された場合には、メール配信及び協会ホームページ上の掲載のみになります。この際にメール受信を希望される方は事務局へご連絡ください。
4. 協会から会員の皆様への**連絡事項**は、協会ホームページ及び会報をメール受信されている方にはメールにて行います:協会ホームページ: URL <http://www.jdg-kobe.org/>
5. **協会事務局**は、通常通り(平日12:00~18:00)開室しますが、外出を自粛されている方は、協会の(留守番)電話・ファックス、メールをご利用ください:

兵庫県下の「緊急事態宣言」が解除されましたら、その後の措置について追ってお知らせします。昨今は日本でもドイツでもワクチン接種に関する報道が多く見られるようになってきました。ワクチンの集団接種が進めば、やがてコロナ感染が終息に向かい、私たちの日常も元に復するという期待感が増えています。しかしこの一年間でこれまで経験したことのない日常の大変容は余りにも大きく、日常が「元に復する」のは難しいことでしょう。

神戸日独協会も新年度を控え今後の活動を計画しなければなりません。感染がある程度落ち着きを呈しましたら、これまでの諸活動を復活しますが、コロナ禍を経験し活動の様々な新たな可能性も見えてきました、ドイツ語講座のオンライン利用、web を活用した会員相互の交流や広報などです。神戸日独協会の今後の活動に是非ともご意見をお寄せください。(会長 柘田義一)

感染防止期間特別企画 『自宅でドイツを楽しもう！』

『家庭でドイツ料理を作りましょう』

不要不急の外出の自粛が求められ、外食を控え家での食事を続けている方もいらっしゃると思います。このコーナーは、「家食」の献立にドイツ料理を取り入れていただきたく設けました。

第7回「アイントップ」と「手作りバター」

料理研究家 日下部管子さん

1、アイントップ(Eintopf)

今回は料理名をあえてドイツ語でアイントップ(Eintopf)と名付けました。意味は“鍋料理”ですが、ドイツの典型的な具だくさんのスープです。

Erikaはこの料理を1週間に1度は作っていました。つまり、冷蔵庫の中の掃除を兼ねたもので、余った野菜たちを集めて煮込んだものです。

味付けはコンソメと塩、胡椒ですが、とてもシンプルで、それぞれの野菜の甘みが伝わってくる料理です。次の日になると、ジャガイモが煮崩れしていて、一層おいしくなるスープです。

ドイツ留学を終えて、6年ほど後に主人と結婚をし、挨拶のためヘルマン家を訪ねたのですが、その日の夜に出された料理がこのアイントップでした。その時、この料理一品だけであったことに、主人はとてもがっかりしていましたが、私にとっては、懐かしいヘルマン家の家庭の味であり、お客様扱いすることなく、家族の一員として迎え入れてくれたことに胸が熱くなりました。

6年の歳月は、ヘルマン家の子供たちも成長し、そのほとんどは家を出て生活をしていましたが、私たちが行くと連絡をしたら、その日は彼らも駆けつけて来てくれ、全員で“アイントップ”の食卓を囲みました。

2、手作りバター(Handgemachte Butter)

ヘルマン家のバターはほとんどが手作りでした。私もよくバター作りを手伝ったものです。

一つは家族の人数が多く、夫婦と育ちざかりの子供たち4人、そして私を含めると7人家族でした。それゆえ、あっという間にバターは消費されたのです。

でも日本と違ってドイツの生クリームは健康を気遣ってか、全体的に低濃度のものが多く、そのままでは固まらないため、Sahnesteifと呼ばれる低脂肪分の粉を加えて濃度を高めつつ固まらせてゆきます。

ただレシピは、日本には高脂肪の生クリームが売っているため、そのまま泡だて器で混ぜているうちに簡単に脂肪分と水分に分かれます。

日本に滞在しているドイツ人の女性をスーパーマーケットに何度か案内したことがありますが、生クリームの乳脂肪の高さに驚き、それでもドイツ人に比べて日本人のそのほとんどの人がスリムであることに、「とても不思議！」と、二度驚きます。

☆レシピは、調理時の便を考慮して別紙にて同封しています。

『ドイツの魅力、素晴らしさを共有しましょう』

外出自粛が求められてのステイホームでドイツ文学をはじめドイツに関する書籍等を読んだり、ドイツ関係の映像を見たりしての紹介・感想などなどをお寄せください。「ドイツの魅力」を共有しましょう。

☆今回も、紙面の都合上このコーナーは休載します。次号へのご寄稿をお待ちしています。

会員の広場

ウイルス感染防止のために協会の行事・催しが出来ないために、会員相互の交流の機会を持つことが出来ずにいます。このコーナーは、会報を通して交流していただくための「広場」です。

ご投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで (多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第二月曜まで事務局へ)

Die Corona-Frisur

Andrea Kehle-Jandl

Seit Mitte Dezember sind außer Geschäfte für Lebensmittel und medizinischen Bedarf alle anderen geschlossen. Friseure auch. Das ist jetzt einen Monat her. Wer zu diesem Zeitpunkt noch keine Geschenke für Weihnachten hatte, konnte entweder die Online-Bestellflut vergrößern oder verzichten.

Es ging an Weihnachten auch mit weniger Geschenken. Dann wurden Gesellschaftsspiele wie „Mensch ärgere Dich nicht“ aus dem Schrank geholt.

Seit Mitte Dezember ist im Bundesland Baden-Württemberg eine nächtliche Ausgangssperre von 20 Uhr abends bis 5 Uhr morgens. Nur an den Weihnachtstagen nicht. An Sylvester schon. Der Verkauf von Feuerwerkskörpern war verboten. Bestände an Feuerwerk aus den Vorjahren durften auf dem eigenen Grundstück gezündet werden. Nach ein paar Glas Sekt ist vermutlich nicht mehr so klar, wo das eigene Grundstück endet.

In meiner Stadt gab es Feuerwerk an Sylvester. Zwar nur halb so viel wie üblicherweise aber beachtlich. Das kann nur mit der sprichwörtlichen Sparsamkeit der Schwaben zusammenhängen, die auch Vorräte an Feuerwerk für schlechtere Zeiten halten.

Weniger Zeit zum Einkaufen gab es, weil die Supermärkte zur Sperrstunde um 20 Uhr schließen mussten. Aber seit März 2020 haben sich in Hamsterkäufen erworbene Vorräte angehäuft, die endlich auf ihre Verwendbarkeit zu prüfen sind. Der Hamsterkauf besagt nicht, dass man einen Hamster kaufen will. Was wurde alles gehamstert: Toilettenpapier, Mehl, Nudeln und dergleichen und Hefe. Wochenlang gab

es keine Hefe, keine frische Hefe und keine Trockenhefe. Wollten jetzt alle ihr Brot selber backen? Die gehamsterte frische Hefe dürfte wohl eher im Mülleiner als im Brotteig gelandet sein. Die Auswahl an Toilettenpapier und Mehl wurde im April und Mai vielseitig. Es gab auf einmal Mehl aus Spanien und Portugal sowie von unbekanntem deutschen Mühlen. Alles in sehr guter Qualität.

Auch beim Toilettenpapier zeigte sich europäische Vielfalt: Italien, Serbien, Portugal und Polen. Das italienische Toilettenpapier hatte mit Comic-Figuren das lustigste Design.

Die Vielfalt fand dann keine Kunden mehr als die gewohnten deutschen Marken wieder im Regal lagen. So wurden die Reste der internationalen Auswahl zu Ladenhütern. Der Konsument ist undankbar. Wenn es wenig gibt nimmt er alles.

Jetzt wächst ein neues Problem. Es sind die Haare. Die Friseure haben noch einige Wochen zu. Bei den Corona-Nachrichten im Fernsehen wird ein Wesen im Bild gezeigt, dem wir zunehmend ähnlich sehen. Sieht das Corona-Virus aus wie wir oder sieht unser Kopfschmuck aus wie das Corona-Virus – genauso zottelig? Zum Glück ist Winter und unter Mützen, Hüten, Kapuzen lässt sich die Corona-Frisur - wenn man draußen ist - verbergen. Am besten so viel wie möglich zuhause bleiben und wachsen lassen.

- 1) Gesellschaftsspiele werden mit mehreren Personen am Tisch gespielt. Ab 2 Personen bis meist 6 Personen. Seit Jahrzehnten beliebte Spiele sind jahrzehntealte Spiele wie „Mensch ärgere Dich nicht“, Halma oder neuere wie „Die Siedler von Katan“, Cluedo usw.
- 2) Der Hamster scheint der deutschen Mentalität sehr nahezuliegen. Der Hamster hamstert = legt Vorräte an. Ein Hamsterkauf erfolgt aus der Angst, nichts im Hause zu haben wenn in den Geschäften die Regale leer sind. Da das Wort „Hamsterkauf“ für europäische Nachbarn missverständlich ist, wurde „Panikkauf“ eingeführt.

Ebenfalls dient das Tier zur Beschreibung von dicken Backen = Hamsterbacken und zur Darstellung mühevollen immer gleichen Tätigkeiten = Hamsterrad.

16.1.2021

コロナヘアスタイル

会員 アンドレア ケーレ=ヤンドル

12月半ば以来、食料品や医薬必需品の店を除いて全ての店が閉店しています。美容院も同様です。こうした事態が今ではひと月を過ぎています。この時期にクリスマスのプレゼントをまだ手に入れていなかった人は、オンラインでの注文を増やすか、諦めるかになったでしょう。

クリスマスにもいつもより贈り物が少ないといった調子なのです。こんな場合には、「(すごろくゲームの一種である)ルード(Mensch ärgere dich nicht)」といったボードゲームを戸棚から持ってくることになるのです。

12月半ばから、バーデン・ヴュルテンベルク州では夜20時から朝5時まで夜間外出禁止になっています。クリスマスの日だけは違います。大晦日もまた。打ち上げ用の花火の販売は禁止されました。昨年以前の花火の蓄えがあれば、自身が所有する土地であれば点火することが許されていました。ゼクトを数杯飲んだ後では、恐らくもうどこで自分の土地が終わっているのか分からないでしょう。

私の街では、大晦日に花火の打ち上げがありました。確かにいつもの半数ではありましたが、かなりのものでした。このことはただ、シュヴァーベン人の諺のようによく知られた儉約精神と関連しているのかもしれませんが。彼らは花火をも、より悪化した時の為に蓄えているのです。

買い物にも今までよりも少ない時間しかありませんでした。なぜならスーパーマーケットは、法定閉店時刻のために、20時には閉店しなくてはならなくなかったからです。しかし2020年3月以来、買いため(Hamsterkauf)で手に入れた蓄えが溜まっていました。これらの蓄えがとうとう使えるかどうか調べられることとなります。

ハムスター買い(=買いため)というのは、人がハムスターを買おうとすることを意味するものではありません。あらゆるものが買いためされるのです、つまりトイレトペーパー、小麦粉、ヌードルやそのようなもの、イーストなどが。何週間もの間、イーストも、生イーストも、ドライイーストもなかったのです。そのときあらゆる人が、自分でパンを焼くつもりだったのでしょうか？買いためされた生イーストはおそらく、パン生地の中ではなくゴミバケツの中に行き着いたことでしょう。トイレトペーパーと小麦粉の品数は4月と5月には幅広いものになりました。突然、スペインやポルトガル産の小麦粉や、よく知らないドイツの製粉所の小麦粉が出てきました。どれもとても良い品質のものでした。

トイレトペーパーにもヨーロッパの多様さが現れました。イタリアやセルビア、ポルトガルやポーランドのものがありました。イタリアのトイレトペーパーは漫画のキャラクターが描いてある愉快的デザインでした。

このような多様さは、慣れ親しんだドイツの銘柄が再び商品棚に並んだ時よりも多くの顧客を獲得することはありませんでした。このように、国際的な品数の残り物は、店ざらしになってしまったのです。消費者は恩知らずなものです。物が少なければ、消費者は何でも手に取るのに。

さて、ここに新たな問題が広がっています。それは髪のことです。美容室もまだ数週間閉まっています。テレビでコロナのニュースが流れる際、映像に「ある存在物」が映し出されます、それに私たちがますます似て見えるものが。コロナウイルスが私たちのように見えるのか、それとも私たちの髪の装いがコロナウイルスのように見えるのか — まったく同じようにもじゃもじゃの姿が？幸運なことに、冬です。このようなコロナヘアスタイルは — 外出しているときは — ベレー帽や帽子やフードの下に隠れます。最もよいのは、できるだけ家にい続けて、この髪の毛を伸ばすことです。

筆者註

ボードゲームは、多くの人とテーブルについて遊びます。2人から、多くて6人までです。数十年来

人気のあるゲームは、「ルード (Mensch ärgere Dich nicht)」やハルマのような数十年もののゲームや、新しいものだと「カタンからの入植者」、クルードなどがあります。

2) ハムスターは、ドイツ人のメンタリティーにはすぐ思いつくものであるようです。ハムスターが蓄える(hamstern)は、備蓄するの意です。ハムスター買いは、店の棚が空っぽのときに、家に何もいないことの心配から生じるものです。「ハムスター買い」という言葉はヨーロッパの隣人にとっては誤解を生みやすいので、「パニック買い Panikkauf」が採り入れられました。

同様にこの動物は、ふくらんでまるまるとしたほっぺたの描写(Hamsterbacken)や、骨の折れるいつも同じ仕事という表現(Hamsterrad)にも使われています。

記者註

ハムスターは大きな頬嚢(ほおぶくろ)に穀物を貯蔵して運ぶことから、Hamsterkauf, Hamsterbacke 等の語が生まれました。

(会員 湯浅恵理子訳)

☆ドイツのボーデン湖畔のフリードリヒスハーフェン Friedrichshafen にお住いの会員 Andrea Kehle-Jandl さんから昨年11月に引き続き、コロナ禍のドイツを知ることのできる時宜を得たご寄稿をいただきました。ありがとうございました。

ドイツー筋に魅力にとりつかれて(続)

北沢誠太郎

(3)9月12日ハンブルグ市内の状況

さて翌9月12日の朝、ハンブルグに永年住んでいる日本人の知人より日本語のFAXをもらい、日本での対応、小泉首相の指示で米関係施設の嚴重警備指示、自衛隊が限界態勢に入った事を知った。

さて私は前夜遅くまでTV放送を見続けたため、午前8時に起床、すぐにTVスイッチを入れた処、今度はハンブルグ市内のマリエン街にテロ犯人のパイロット2名が3ヶ月前まで住んでいた事実が判明、大騒ぎになり、多くの警官が家宅搜索を開始、家主の女主人や家族たちが事情聴取されている様子が放映された。女主人によると「彼らはおとなしい礼儀正しい青年であり、時には私の荷物を持ってくれた事もあり、ドイツ語を上手に話し、まさか彼らが犯人であるとはとても信じられない」と話していた。

当日はドイツ晴れの快晴で絶好の写真日和であったので、私は朝食後早速愛用のカメラ2台を持ち、街に出かけた。ハンブルグの街は平常とは変わっておらず、商店街はにぎわっていたが、しかしすべての官庁、公共施設、銀行、百貨店等の建物及び市内の各国領事館、勿論日本も含めて、すべて半旗が掲げられていた。

外アルスター湖に面したアメリカ総領事館には国防軍の装甲車並びに警察車両が配備されており、完全武装した兵士並びに警察官による物々しい警備態勢が敷かれていた。しかし外側にある道路には、多くのドイツ人市民が花束をもって弔問に続々と詰めかけており、領事館前の道路は多くの花束にうずまっていた。

(4) ハンブルグ市庁舎に於ける市民の弔問と献血

次いで有名なハンブルグ市庁舎 Rathaus を訪れた。当日は市内のすべての美術館、博物館、映画館はテロ犠牲者を悼んで臨時休館となっていた。市庁舎も休館中であるにも拘らず、多くの市民が花束を持って訪れ、弔問の記帳をしていた。

私もドイツ市民と共に記帳に加わった。まずローマ字でサインし、次いで日本語で記帳した処、2名の若い女性からインタビューされた。「何故貴方は日本人であるのに記帳したのか」と質問された。私は「我々日本にとり、ドイツ人もアメリカ人も大事な友達である。友達がこんなひどい目に遭って憤りを覚えると共に、多くの犠牲者を悼んで記帳したまでです」と応えた処、彼女達は“Vielen Dank”(どうも有難うございました)と礼を言い、次のインタビューに移って行った。

記帳を終えて中央階段前のホールを見ると、多くの若い男女が2列に並んでいる。何をしているのだろうかと思って見ると、「アメリカの友人のために献血を」の看板があり、ドイツの青年達が順番に献血をしていた。先程、私をインタビューした女性アナウンサーが献血を終えた20代の青年に質問していた。「何故あなたは献血をするのですか」の問いに対し、彼は「私はお金は持っていない。しかし私は若いので血は沢山ある。だからアメリカ人のために、せめて私の血を捧げたまでです」と笑みを浮かべ堂々と答えていた。これだけの事を言える日本の青年は何人いるだろうかと、私は背筋の寒くなる思いで聞いていた。

以上がハンブルグ滞在中、アメリカ同時多発テロ事件のドイツでの対応反響のありのままです。諸兄弟にご笑覧いただければ幸いです。

ドイツ新事情 —Deutsche Welle の記事から—

2020年のUNWORT

理事 押尾 愛子

前にも一度紹介したことがあるが、日本で毎年、その年の世相を表わす漢字を「今年の漢字」として選んでいるのと同じようなことが、ドイツでも行われている。ドイツの特徴は、その年を代表する言葉 Das Wort des Jahres と並んで、その年の Das Unwort des Jahres (粗悪語)を選んでいることである。

例年 Unwort は一語選ばれるのだが、今回は初めて Corona-Diktatur(コロナ独裁政権)と Rückführungspatenschaften(リターンズポンサーシップ)の2つの言葉が選ばれた。

Corona-Diktatur という言い方は、コロナウィルスの蔓延を防ぐために、政府がロックダウン等の措置を行ったことに対して、それに反対する人々が言い出した言葉である。そもそもコロナウィルスなんてものではなくて、政府が我々を抑えつけるためにコロナを利用しているのだと主張する人々すらいる。政府が行ったのはもちろん独裁ではないし、これを独裁と呼ぶことで、本当の独裁政権とはどういうものであるか、過小評価する恐れがあるという理由で、Unwort の審議委員会はこの言葉を選んだ。

もうひとつの Rückführungspatenschaften(リターンズポンサーシップ)のほうは、日本ではあまり話題になっていないが、移民政策の新しいメカニズムを指す欧州委員会の概念である。私たち

がコロナで大騒ぎしている間も、ヨーロッパでは移民政策をめぐるずっと議論されていた。Patenschaft(代父母)という概念自体、私たちにはピンとこないが、父母に代わって責任を持つという意味で使われる。つまり、移民の申請をして許可されなかった人々に対しては、その国が責任をもって本国に送り返すということである。未だ実行性のほどは確認されていないが、要するに強制送還を大義名分化しただけじゃないかという批判的な意見もある。

さて、Das Wort des Jahres は Corona-Pandemie(コロナ・パンデミック)で、これは誰しも納得できる。Das Wort des Jahres は1971年に初めて選ばれ、1977年からは毎年選ばれている。Das Unwort des Jahres のほうは比較的新しく、1991年に始まった。

ところで Unwort はどうやって選ばれるのか？ 独立した Unwort の審議委員会があり、メンバーは、ドイツの別々の大学で教鞭をとっている言語学者4人、ジャーナリスト1人、公的な文化・メディア関連の仕事をしている言語に関心のある人1人で、名誉職、つまり無給である。

12月31日までに Unwort だと思ふ言葉を郵送する。2020年は1826通、625語の候補が送られてきた。2020年はコロナに関する語が多数を占めていて、Absonderung(隔離)や Systemling(遠隔監視ツール)なども候補にあがった。

審査会はこうして毎年 Unwort を選ぶことで、人間の尊厳や、民主主義の原理原則に反する不快な言葉が広まるのを防ぎ、言葉に対しての意識を高めてもらいたいと願っている。

Deutsche Welle: Gleich zwei Begriffe zum“Unwort des Jahres 2020” gekürt (12.01.2021)より。

(このコーナーは、神戸日独協会ドイツ語講座講読クラスLN(火曜日)の受講者が授業で読んだ記事の中から興味深い up date なニュースを随時会報にて紹介しています)

2月の実行委員会のお知らせ

2月の実行委員会を下記のとおり開催します。実行委員以外の方にも是非ともご参加の上ご意見をいただきたくお願いいたします。感染予防の上ご参加ください。

日 時：2月21日(日)15時～ 場 所：神戸日独協会会議室

事務室からのお知らせ

会報印刷・発送ボランティア募集

会報の印刷と発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の印刷と発送は3月11日(木)を予定しています。

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL/FAX 078-230-8150)。

印刷：兵庫県国際交流協会作業室(神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号

国際健康開発センター2階、県立美術館西隣)にて、10:30より1時間半程度

発送：神戸日独協会にて、12:30～

これからの神戸日独協会の催し

行事及び催し物の開催については、ウイルス感染防止のため日時の確定及び実施が極めて流動的ですので「一覧表」は割愛させていただき、その都度別途「協会ホームページ」でお知らせいたします。「協会ホームページ」でご確認いただくか、あるいは協会事務室へお問い合わせください。